



① 戦略的な観光振興

継続	水見市観光協会補助金		1,330万円
			(前年度) 1,330万円
担当課		商工観光課	電話番号 74-8106
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>観光振興は、交流人口の拡大に大きく貢献し、雇用の創出につながるとともに、産業の裾野が広く、地域に大きな経済効果をもたらす原動力になるものと期待されています。</p> <p>2. 平成30年度事業の内容</p> <p>地域の観光振興の中核を担う一般社団法人水見市観光協会の運営経費の一部を市が補助します。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>観光協会の安定的な運営と実施事業の充実を図ります。</p>			
(単位:万円)			
財源	市の負担	1,330	経費内訳 補助及び交付金 1,330
			 <p>水見市観光協会</p>

継続	コンベンション・修学旅行等誘致推進事業費		350万円
			(前年度) 200万円
担当課		商工観光課	電話番号 74-8106
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>人口減少が続く中、交流人口の拡大や経済活動の活性化を図るためには、宿泊客の誘致が重要となっています。そのため、県外参加者を含む団体客をターゲットに、コンベンション(スポーツ大会や学会など)や修学旅行などを誘致します。</p> <p>2. 平成30年度事業の内容</p> <p>市内で宿泊する県外参加者を含む広域規模のコンベンションや、県外からの修学旅行などに対して、経費の一部を助成します。修学旅行の誘致(新規含め8校程度)、コンベンションの開催(新規含め7回程度)を予定しています。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>修学旅行生の誘致1,000人以上を目指します。</p> <p>新規大会などを1回以上増やします。</p>			
(単位:万円)			
財源	県の負担	1	経費内訳 補助及び交付金 350
	市の負担	349	
			 <p>修学旅行でのかまぼこ絵付け体験</p>

① 戦略的な観光振興

拡充	観光戦略事業費	1,876万円			
		(前年度)	2,439万円		
担当課	商工観光課	電話番号	74-8106		
1. 本市の現状と課題					
<p>北陸新幹線が開業し、本市に、海や里山の多彩な食などを求め、多くの方が訪れています。 この効果を更に伸ばし持続させ、市内全域に波及させていく必要があります。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
<p>首都圏や新幹線沿線、姉妹都市などでの観光宣伝の実施や新聞・旅行雑誌への観光情報などの掲載、ポスターやパンフレットの作成などを行います。また、観光船を活用した富山湾の魅力発信、富山湾岸サイクリングやまるまげまつりなどの誘客イベントを行うとともに、他市と連携した広域観光事業を実施します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>本市の魅力を広く発信することで、認知度を高め、誘客を促進するとともに、観光地としての受入環境の充実による来訪者の満足度の向上を図ります。</p>					
(単位:万円)					
財源	国の負担	89	経費内訳	委託料	619
	市の負担	1,787		負担金	449
				その他	808



出向宣伝のブース

拡充	観光広報強化事業費	846万円			
		(前年度)	1,716万円		
担当課	商工観光課	電話番号	74-8106		
1. 本市の現状と課題					
<p>首都圏などにおける本市の認知度は、「ひみ寒ぶり」については高いものの、観光地、宿泊地としての認知度はまだまだ低い状況にあります。国が先頭となり、外国人観光客誘致を進めており、本市への外国人旅行者も年々増加傾向にあります。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
<p>テレビ番組や雑誌など、マスメディアでの露出増加を目的とした首都圏テレビ局や番組制作会社、出版社への働きかけを強化するなど観光協会とともに広報力強化に向けた取り組みを実施します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>本市の魅力を国内外に広く発信することで、本市への関心を高め、交流人口の増加につなげます。</p>					
(単位:万円)					
財源	市の負担	846	経費内訳	委託料	794
				旅費	52



観光パンフレット

① 戦略的な観光振興

新規	インバウンド対策事業費	420万円
		(前年度) —
担当課	商工観光課	電話番号 74-8106

1. 本市の現状と課題

国が訪日外国人旅行者数を2020年までに4,000万人にするとの目標を掲げる中、本市でも近年、外国人旅行者が増加してきています。ターゲット国を定め、その市場や顧客ニーズを把握するとともに、文化的背景を理解した上で外国人旅行者をお迎えするために、専門知識や経験を有する人材を育成することが重要です。

2. 平成30年度事業の内容


市内観光業者・関係団体のスタッフを対象に、「訪日おもてなし」研修(2回程度)を行います。研修教材として、「外国人旅行者のおもてなし手引き」、実用的な多言語の会話シートや館内掲示物を作成します。また、外国人旅行者の利便性を高めるためのWi-Fi整備や、海外での出向宣伝なども実施します。

3. 目標値または実施により求める効果

宿泊施設での外国人旅行者の受入れ環境を向上させます。

(単位: 万円)

財源	基金繰入金	400	経費内訳	委託料	220
	市の負担	20		補助及び交付金	200



海外出向宣伝の様子

新規	団体旅行誘致・新高岡駅利用促進事業費	300万円
		(前年度) —
担当課	商工観光課	電話番号 74-8106

1. 本市の現状と課題

平成27年3月に開業した北陸新幹線の新高岡駅の利用者数が想定したほど伸びていないため、定期便化を目指している「かがやき」は、一日一往復停車であったものが平成29年12月から平日の運行がとりやめとなりました。また、新幹線開業から4年目を迎え、観光入込客数や宿泊者数の減少が懸念されています。

2. 平成30年度事業の内容


北陸新幹線新高岡駅利用と本市来訪を組み合わせた団体旅行を支援するため、旅行会社に対し、実際に催行した人数・旅行内容に応じて助成を行います。

3. 目標値または実施により求める効果

新高岡駅利用者数の維持・向上を目指すとともに、本市を目的地や宿泊地とした団体旅行商品の造成を促進します。


(単位: 万円)

財源	市の負担	300	経費内訳	委託料	300



新高岡駅利用の団体旅行を誘致

① 戦略的な観光振興

継続	北陸新幹線2次交通運行事業費	700万円 (前年度) 700万円
担当課	地域振興課	電話番号 30-2949
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>平成27年春の北陸新幹線長野・金沢間開業に伴い、大都市圏と直結した交通基盤が整いました。しかし、既存の交通機関では、北陸新幹線最寄り駅である新高岡駅から本市への移動には乗り換えが必要になるため、新高岡駅と本市とを結ぶ交通機関を確保し、氷見市民や来訪者の利便性を向上させる必要があります。</p> <p>2. 平成30年度事業の内容</p> <p>速達性に優れた高岡和倉間高速路線バス「わくライナー」を運行するための負担金を拠出します。「わくライナー」は高岡駅・新高岡駅から本市を経由し、石川県七尾市の和倉温泉に至る高速バス路線で、市内には「ひみ番屋街」「ひみ阿尾の浦温泉」「岩井戸温泉」の3つの停留所を設けます。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>「わくライナー」が北陸新幹線新高岡駅の2次交通として機能し、利便性が向上することで、新高岡駅を中心とした飛越能地域の交流人口が増加し、地域経済の活性化が期待されます。</p>		
(単位:万円)		
財源	市の負担 700	経費内訳 負担金 700
 <p>「わくライナー」ロゴマーク</p>		

② 個性を生かした魅力ある地域づくり

拡充	まんがのまちづくり推進事業費	2,496万円			
		(前年度) 2,293万円			
担当課	商工観光課	電話番号 74-8106			
1. 本市の現状と課題					
<p>平成29年8月に潮風ギャラリーがアニメツーリズム協会の「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に選定されました。このネットワークを生かすとともに、まちなかの「氷見市 藤子不二雄(A)まんがワールド」のクオリティアップを図り、全国レベルでまんがのまちとしての認知度を高め、来訪者を増加させることが重要です。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
<p>キャラクターグリーティングなどのイベント開催や潮風ギャラリーの展示内容充実、ウェルカムボードの新規制作などを行います。また、まんがの描き方を学ぶなどのカルチャー関連企画を充実させ、「藤子不二雄(A)先生のふるさと・氷見市」を全国に発信します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>「藤子不二雄(A)先生のふるさと・氷見市」ならではの取り組みを推進していくことで、本市への来訪者増を図ります。</p>					
(単位:万円)					
財源	市の負担	2,496	経費内訳	委託料	1,888
				使用料及び賃借料	432
				その他	176



新規	漁業交流施設整備事業費	486万円			
		(前年度) —			
担当課	商工観光課	電話番号 74-8106			
1. 本市の現状と課題					
<p>平成27年4月、旧海鮮館をリニューアルし、「ひみ漁業交流館 魚々座」として開館しましたが、資金不足により1年半で休館しました。平成29年7月に「氷見市漁業文化交流センター」として再び開館し、現在、施設の再スタートに向けた準備を行っています。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
<p>平成31年度の再スタートに向けた関係団体などとの利活用方法の検討及び改修工事などを実施します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>漁業文化の発信・観光交流の拠点として、定置網を軸とした氷見の漁業や漁村文化、世界農業遺産に関する情報を広く発信するとともに、中心市街地への回遊性の向上と賑わい創出につなげることを目標としています。</p>					
(単位:万円)					
財源	市の負担	486	経費内訳	委託料	486

